

活動名 一般公募における、小グループ活動を中心とした 青少年対象野外教育「クラブ事業」	団体名	キララ・カウンセラーズ・クラブ
	地域	山口県山陽小野田市
	代表者	代表 永山 康昭
	支援金額	21万円
活動概要		
<p>宿泊をともなう体験活動において、野外教育・グループワークの諸方法論を元に、小グループ間の人間関係に注目した自然体験活動。 一般公募にて募集したメンバーを固定、同一メンバーにより短期間の行事を繰り返すことで行事を長期化する「クラブ行事」。 この行事環境の中にて、参加メンバーの社会的性格の助長を期待。 第1回「はじめましての集い」 第2回「海・カヌーのプログラム」 第3回「サイクリング・小旅行計画のプログラム」</p> <p>◆実施時期 宇部ときわ湖畔ユースホステル 萩青年の家</p> <p>◆参加人数 1回目行事 12人(小学生) 2回目行事 9人(小学生) 3回目行事 7人(小学生)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 28名</p>		



自然体験活動
「葉っぱでじゃんけん」パーの葉っぱ(かな?)



自転車の乗り方講習
自転車整備も終わり、今から出発です



星座盤を手作りしました



作った星座盤を使って、天体観測
原っぱに寝そべて、観察しました

◆実施に伴う効果

期間的には1~2泊の短期間の行事ではあるが、それを繰り返すことで参加メンバー間に少しずつではあるが交流の幅が広がってきているように思える。

具体的には、毎回グループカウンセラー(リーダー)のレコード(記録)によると、当初心配していた男女間の会話が甲斐を重ねるごとに増えてきているようである。

行事の長期化に対する効果は、予想通りであると感じる。

また、当初予定していなかったが、行事参加保護者と当グループのコミュニケーションも回を重ねるごとに増えてきた。

顔見知りになったことが大きいですが、それによって両者間に信頼関係が築ければと期待している。

◆苦勞した点

参加者・大学生ボランティアの募集には苦勞した。

事業PRに関して、WEB利用(HP、公的イベント掲載ページ等)は一応の効果があったが、マスコミ等掲載依頼は団体として規模が大きくないためなかなか受け入れてもらえず困った。幸いにも宇部市広報誌掲載がなかったため、予想以上の問い合わせはいただけたと思う。

大学生募集に関しても、近年大学生はボランティア志向にないらしく、その確保に苦勞した。大学関係者にも協力いただき、開催可能人数の確保はできたものの、今後のことを考えるとまだまだ募集努力が必要と思える。

◆今後の課題・発展の方向性

参加者・大学生ボランティアの募集に関しては、現状やれるべきことをやり、実績を積み信用を得ることで、後は口コミによる効果が大であろうと考えている。

事業予算確保に関しては、主となる参加費は今後これ以上の大幅な増額は参加者の立場からも無理があらうと思えるので、数年は何かしらの助成・委託金等の獲得をめざしていかなければと思う。

この事業では、青少年事業の「実施行事」と、それに伴う「ボランティア確保、またその育成」が鍵になるが、その関係は共に比例していくと考えている。

具体的には、「ボランティア数」に対して「実施行事数」が増加するだろうと思うが、「ボランティア」は数ではなく、その実践資質を中心におくべき点は、考えるに容易だ。

実施事業運営とともに、ボランティア育成には充分力を入れて、彼らの援助が充分できる体制を取れる団体になればと思う。

◆活動を終えての感想・意見等

現在、クラブ事業としては引き続き事業継続中である。

その点をふまえても、ある程度の効果は達成できたな、と感じる。

次年度以降も引き続き継続開催をしていきたい。

ある程度の人員確保を期待できるようになった時点で、効果測定を元に、実施アクティビティの見直しも行いたい。